

日経平均株価
円ドル相場
見通し

株



株立

新ビジネス発想

③

ギャグ漫画を映画化した「ピューと吹く! ジャガー!」が、吹きにゆきます」が、10日から順次、全国公開される。監督・脚本・キャラクターデザインを一人でこなす映像クリエイター、フロッグマンさん(37)は松江市に住んでいる。

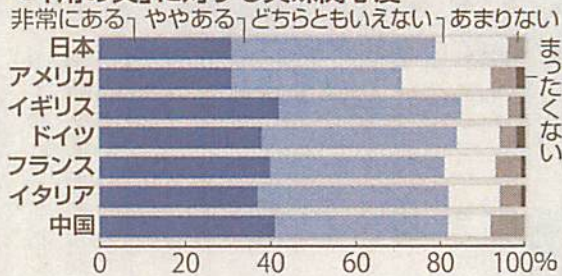
5年前から作品がインターネットなどで注目を集め、初めて劇場公開されたアニメ映画「秘密結社鷹の爪 THE MOVIE」の総統は二度死ぬ」は2008年、ニューヨーク国際アニメーション映画祭のアニメ部門で最優秀作品賞を受賞した。

「人口も少なく大都市から遠い土地での、一つの生き方もしれない」。フロッグマンさんは、地方から海外へのコンテンツ発信が

黒炭でスピーカーの本体を何度も水研ぎする。若手デザイナーと伝統工芸の合作だ(石川県輪島市の塩安漆器工房で)



「用の美」に対する興味関心度



「用の美」高い関心

中小企業庁などが2007年にまとめた伝統工芸に関する調査で、とりわけ海外の消費者の興味を引いたのは「用の美」だ。和傘や陶器などの写真を示し、日本人が実用の中で美しさを鍛え上げてきたことを説明したうえで、関心の有無を聞いたところ、各国とも7~8割が「ある」と答えた。ゲーム機やアニメでは5割前後だった。伝統工芸品に対し海外に大きな潜在需要があることを示すものと言える。

地方発 世界ブランドへ

十分可能と考えている。ゲーム産業の集積地である福岡県では、「ドラゴンクエストVIII」などを手がけたレベルファイブや、「NARUTO ナルト」シリーズのサイバーコネクトツーなど、海外で高い評価を受けるソフトウェアが生まれた。

経済産業省のまとめで

は、同県のゲーム関連13社の売上高は年間で計70億円を超え、東京一極集中の著しい業界で異彩を放つ。08年3月に人材獲得のため首都圏で合同開催した就職フェアでは、延べ465人の就職希望者が参加したという。

「まるで宝石のようだ」。外務省所管の独立行政法人、国際交流基金がパリで開催中のデザイン展で、輪島塗のスピーカーに現地の人が息をのむ。展示会を担当する同基金の牧瀬浩一さんは「長い

歴史と生活の中から生まれた伝統工芸こそ、地方が世界に誇れるコンテンツだ」と話す。

スピーカーは、石川県輪島市の輪島塗工房「塩安漆器工房」と、若手デザイナー13人のユニット「参(マール)」が手を組んで作り上げた。

「参」の松尾伴大さん(31)は「日本では作れないものを」と考えた末、伝統工芸の輪島塗に行き着いたという。

日銀は景気下支えに向け一段と難しい舵取りを迫られる。景気の急激な悪化を受

税抜きで1組み40万円と高価なため、飛ぶように売れるたぐいの物ではないが、工房の代表、塩安真一さん(56)は期待する。マニア受けする美術品としてではなく、高級実用品としての輪島塗をアピールできる。京都に店を構える「日吉屋」5代目社長の西堀耕太郎さん(34)は、和傘をアレンジした照明器具「古都里」の欧州での販売に力を入れる。

ドイツ、フランスで08年夏、1台150万円(約2万円)で発売された。1月からは電球の取り付け部分などを現地仕様に変え、月産1000台を目指す。形や用途を変えても、底流にあるのは「1000年の歴史が醸した構造美」と西堀さんは言う。

伝統の技に一工夫加えることで世界への発信力がぐんと上がる。輸出基地としての地域的な広がりや海外からの観光客の誘致に結びつけば、地方再生の可能性が広がりそうだ。